

**＜震災復興支援＞ 福島県での海岸防災林再生への取り組みについて
～「くみずほ」の森プロジェクト」 第1回植樹活動を実施～**

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：佐藤 康博）は東日本大震災からの復興支援に、グループの総力を挙げて取り組んでおります。震災復興支援活動の一環として、福島県いわき市の海岸防災林を再生する「くみずほ」の森プロジェクトを開始しており、このたび下記のとおり第1回植樹活動を行います。

「くみずほ」の森プロジェクトは、東日本大震災での津波により甚大な被害を受けた福島県沿岸部の海岸防災林再生のため、2013年4月に福島県・いわき市・海岸防災林所有者と協定を締結して開始したプロジェクトです。海岸防災林の一区画に「くみずほ」の森を設置し、今回を含む計3回の植樹活動で13,000本のクロマツの苗木を植樹した後、2019年3月まで保育活動に取り組めます。

2013年4月の協定締結後、福島県が防潮堤の建設や対象地の盛土等を行う間、社員ボランティアを派遣し、地元自治体や地域住民の方と対象地近隣の海岸清掃活動を行うなど、植樹開始に向けた準備を進めてきました。

くみずほはこの海岸防災林再生の取り組みのほか、さまざまな復興支援に引き続き取り組んでまいります。

記

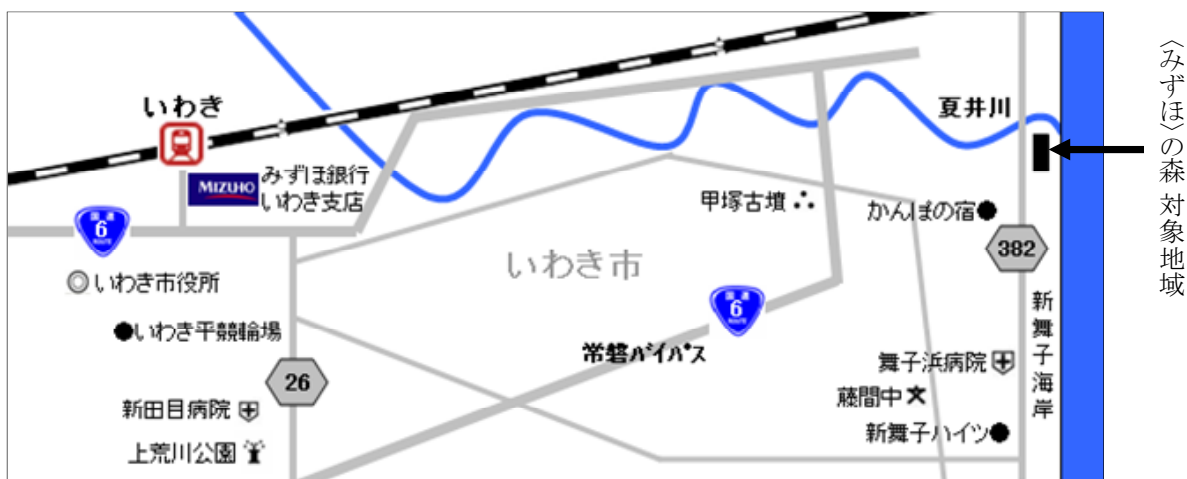
1.	日 時	2014年11月8日（土）10:30～15:45（雨天決行）
2.	場 所	福島県いわき市平下大越字南横手 226 番地（新舞子海岸）
3.	植 樹 本 数	今回 約 4,500 本（1年半で全 13,000 本を植樹）
4.	樹 種	クロマツ
5.	参 加 者	福島県庁・いわき市役所の職員、地域住民のボランティア、 みずほフィナンシャルグループ社員 合計約 180 人
6.	主 な 出 席 者	いわき市 市長 清水 敏男 福島県農林水産部 部長 畠 利行 下大越共有山林組合 組合長 高木 長吉 株式会社みずほ銀行 頭取 林 信秀

以上

対象地域

住所：福島県いわき市平下大越字南横手226番地(新舞子海岸)

《新舞子海岸林》
 いわき市の太平洋岸に南北約7Kmに伸びる防潮保安林で、全体で約70haに及びます。
 江戸時代、磐城平藩の藩主が植林したのが始まりと言われています。



（みずほ）の森対象地域

活動内容

福島県が防潮堤建設、対象地区の盛土等を行った後、2014年11月より、対象地域1.3haに植栽を行います。
 1ha当たり約1万本を植栽し、1年半で約1万3千本のクロマツを植栽予定です。

クロマツの苗木代等、海岸防災林再生に要する費用を（みずほ）が負担するとともに、グループ社員によるボランティアを派遣し、植栽活動、保育活動（下刈り、施肥、補植等）を行います。

<被災した福島県の海岸防災林>



スケジュール

2013年度		2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
上期	下期	上期	下期				
●4/24協定締結		活動期間 2014年11月～2019年3月					
防潮堤建設 盛土等 工事		植栽期間(1年半)			保育期間(3年)		
		植栽	植栽	植栽	保育	保育	保育
					保育	保育	保育
					保育	保育	保育
					保育	保育	保育
					保育	保育	保育

これまでの活動内容

【公園清掃ボランティア(2013年10月)】



グループ社員が福島県庁、いわき市役所のみなさま、地域住民のみなさまとともに、〈みずほ〉の森プロジェクトの対象地近隣の公園清掃ボランティア活動を行いました。



【海岸清掃ボランティア(2014年7月)】



グループ社員が福島県庁、いわき市役所のみなさま、地域住民のみなさまとともに、〈みずほ〉の森プロジェクトの対象地近隣の海岸清掃ボランティア活動を行いました。

